



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6340 URL <http://www.shibuva.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日

平成26年3月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	32,005	△2.2	1,350	93.6	1,707	135.7	974	537.6
25年6月期第2四半期	32,714	12.9	697	337.6	724	339.0	152	—

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 889百万円 (113.2%) 25年6月期第2四半期 417百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	35.22	—
25年6月期第2四半期	5.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	87,332	31,499	36.1	1,138.14
25年6月期	84,848	30,743	36.2	1,111.03

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 31,492百万円 25年6月期 30,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年6月期	—	5.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	13.2	4,600	32.4	5,000	30.9	3,200	84.0	115.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	28,149,877 株	25年6月期	28,149,877 株
26年6月期2Q	479,733 株	25年6月期	478,944 株
26年6月期2Q	27,670,522 株	25年6月期2Q	27,671,070 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀の経済政策と金融緩和策による円安、株高を背景に、公共投資や個人消費が堅調に推移し、企業の設備投資も持ち直しが見られるなど、全体として「緩やかな回復」基調にありました。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は320億5百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益13億50百万円（前年同期比93.6%増）、経常利益17億7百万円（前年同期比135.7%増）、四半期純利益9億74百万円（前年同期比537.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業において、酒類用プラントは前年同期に比べ減少したものの、食品用プラントはとりわけ中国、北米をはじめとする海外での飲料用無菌充填ラインの納入が好調であり、前年同期に比べ増加しました。薬品・化粧品用プラントは第3四半期以降の納入案件が多く、前年同期に比べ大きく減少しました。

その結果、連結売上高は204億94百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は29億44百万円（前年同期比131.8%増）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業において、半導体製造装置は、中国、東アジアでの設備投資の回復傾向と、円安の進行による日本製への回帰現象、中国向け新機種投入により、前年同期に比べ売上が増加しました。切断加工機は、国内需要の回復傾向を受け、金属加工用切断機および薄板微細加工用の新機種が好調で、前年同期に比べ売上が増加しました。医療機器は、国内向けの販売が好調で、前年同期に比べ売上が増加しました。一方、損益面においては、研究開発費が減少したことなどにより、前年同期に比べ損失幅が縮小しました。

その結果、連結売上高は73億78百万円（前年同期比4.1%増）、営業損失は8億85百万円（前年同期は営業損失12億10百万円）となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業において、前年同期は柑橘類、野菜・果菜類向け選果選別プラントの設備更新が好調であったものの、当期は大型設備の納入がなく、前年同期に比べ大きく減少しました。

その結果、連結売上高は39億93百万円（前年同期比41.7%減）、営業利益は1億90百万円（前年同期比88.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億84百万円増加し、873億32百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末に比べ7億22百万円増加し、151億54百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ7億56百万円増加し314億99百万円となり、自己資本比率は36.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億94百万円の資金増加（前年同期は18億38百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が17億89百万円となり、たな卸資産の増加額43億78百万円、未払金及び未払費用の減少額19億59百万円ならびに法人税等の支払額17億58百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費8億8百万円や減損損失3億26百万円、売上債権の減少額44億37百万円、前受金の増加額23億87百万円ならびに仕入債務の増加額12億49百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億47百万円の資金減少（前年同期は8億47百万円の資金減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却から取得を差し引いた資金増加が3億69百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が9億7百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億52百万円の資金増加（前年同期は8億9百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より14億66百万円増加し124億85百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年8月9日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	85,000	4,850	5,000	2,980	107円69銭
今回修正予想 (B)	83,000	4,600	5,000	3,200	115円65銭
増減額 (B-A)	△2,000	△250	—	220	—
増減率 (%)	△2.4	△5.2	—	7.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年6月期)	73,305	3,473	3,820	1,739	62円85銭

売上高については、主に農業用設備事業において大型案件の延期が相次いだことなどから前回予想に比べ2.4%減少の83,000百万円に修正しております。

利益面については、売上高の減少に伴い営業利益は前回予想に比べ5.2%減少の4,600百万円と見込まれるものの、営業外収益および特別利益に投資有価証券売却益を計上したことから、経常利益は前回予想と同額の5,000百万円、当期純利益は前回予想に比べ7.4%増加の3,200百万円と見込んでおります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,226	12,696
受取手形及び売掛金	27,375	22,972
製品	352	383
仕掛品	7,115	11,277
原材料及び貯蔵品	1,750	1,953
繰延税金資産	865	591
その他	1,450	2,469
貸倒引当金	△10	△12
流動資産合計	50,125	52,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,485	11,167
機械装置及び運搬具(純額)	1,614	1,593
土地	11,812	11,618
建設仮勘定	144	633
その他(純額)	766	844
有形固定資産合計	25,823	25,857
無形固定資産		
のれん	1,884	1,730
その他	258	238
無形固定資産合計	2,142	1,968
投資その他の資産		
投資有価証券	3,449	3,644
長期貸付金	10	11
繰延税金資産	2,552	2,733
その他	826	832
貸倒引当金	△83	△46
投資その他の資産合計	6,755	7,174
固定資産合計	34,722	35,001
資産合計	84,848	87,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,358	18,631
1年内償還予定の社債	30	—
短期借入金	5,700	5,095
未払法人税等	1,603	619
未払費用	4,744	2,839
賞与引当金	293	292
受注損失引当金	16	53
製品保証引当金	88	89
その他	3,993	6,289
流動負債合計	33,828	33,910
固定負債		
長期借入金	8,701	10,058
退職給付引当金	10,903	11,128
役員退職慰労引当金	318	319
繰延税金負債	184	186
その他	167	229
固定負債合計	20,276	21,921
負債合計	54,104	55,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	10,358
利益剰余金	9,230	10,066
自己株式	△429	△431
株主資本合計	30,551	31,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	126
繰延ヘッジ損益	△58	△23
為替換算調整勘定	△10	3
その他の包括利益累計額合計	192	106
少数株主持分	—	7
純資産合計	30,743	31,499
負債純資産合計	84,848	87,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	32,714	32,005
売上原価	27,314	26,074
売上総利益	5,400	5,930
販売費及び一般管理費	4,702	4,580
営業利益	697	1,350
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	32	30
投資有価証券売却益	2	281
持分法による投資利益	1	2
固定資産賃貸料	36	37
その他	118	154
営業外収益合計	199	512
営業外費用		
支払利息	98	84
手形売却損	4	3
投資有価証券売却損	3	21
その他	65	46
営業外費用合計	172	155
経常利益	724	1,707
特別利益		
固定資産売却益	10	18
投資有価証券売却益	0	387
その他	—	20
特別利益合計	10	426
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産処分損	35	13
減損損失	—	326
退職給付費用	52	—
その他	4	3
特別損失合計	101	343
税金等調整前四半期純利益	632	1,789
法人税、住民税及び事業税	707	786
法人税等調整額	△227	27
法人税等合計	480	814
少数株主損益調整前四半期純利益	152	975
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	0
四半期純利益	152	974

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152	975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	△134
繰延ヘッジ損益	14	35
為替換算調整勘定	6	13
その他の包括利益合計	265	△85
四半期包括利益	417	889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418	889
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	632	1,789
減価償却費	829	808
のれん償却額	186	153
減損損失	—	326
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	445	224
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△172	36
受取利息及び受取配当金	△39	△36
支払利息	98	84
持分法による投資損益 (△は益)	△1	△2
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	△647
売上債権の増減額 (△は増加)	5,944	4,437
前受金の増減額 (△は減少)	1,741	2,387
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,324	△4,378
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,908	1,249
前渡金の増減額 (△は増加)	△428	△1,039
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,608	△1,959
未払又は未収消費税等の増減額	△362	△542
その他	278	250
小計	2,271	3,107
利息及び配当金の受取額	35	33
利息の支払額	△95	△88
法人税等の支払額	△371	△1,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,838	1,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△136	△231
定期預金の払戻による収入	197	228
投資有価証券の取得による支出	△10	△1,453
投資有価証券の売却による収入	77	1,823
有形固定資産の取得による支出	△1,000	△907
有形固定資産の売却による収入	134	20
無形固定資産の取得による支出	△105	△27
子会社株式の取得による支出	△415	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	294	—
補助金の受取額	114	114
その他	3	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△847	△447

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,027	4,290
短期借入金の返済による支出	△5,210	△4,876
長期借入れによる収入	700	2,600
長期借入金の返済による支出	△1,148	△1,282
社債の償還による支出	△30	△30
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△1
配当金の支払額	△138	△138
その他	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△809	552
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	68
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	214	1,466
現金及び現金同等物の期首残高	8,328	11,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,543	12,485

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラント 事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,667	7,089	6,855	32,611	102	32,714	—	32,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	357	50	196	604	96	700	△700	—
計	19,024	7,139	7,052	33,216	199	33,415	△700	32,714
セグメント利益又は損 失(△)	1,270	△1,210	1,634	1,693	△62	1,631	△934	697

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業および環境事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△934百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△941百万円および棚卸資産等の調整額7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メカトロシステム事業」において、当社が(株)ネアガリの株式を取得したことにより、のれんの額が116百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラント 事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,494	7,378	3,993	31,866	138	32,005	—	32,005
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	228	164	666	109	775	△775	—
計	20,768	7,607	4,158	32,533	248	32,781	△775	32,005
セグメント利益又は損 失(△)	2,944	△885	190	2,249	△24	2,224	△874	1,350

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業および環境事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△874百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円および棚卸資産等の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「パッケージングプラント事業」において、工場の閉鎖および売却を機関決定した資産について帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額326百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

4. その他

受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	20,076	22,680	+13.0
(酒類用プラント)	(3,313)	(739)	(△77.7)
(食品用プラント)	(13,372)	(17,326)	(+29.6)
(薬品・化粧品用プラント)	(2,443)	(4,060)	(+66.2)
(その他)	(946)	(553)	(△41.5)
メカトロシステム事業	7,181	7,929	+10.4
農業用設備事業	5,483	2,971	△45.8
その他の事業	521	91	△82.5
合 計	33,262	33,672	+1.2

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	25,548	32,847	+28.6
(酒類用プラント)	(3,118)	(687)	(△77.9)
(食品用プラント)	(15,879)	(23,628)	(+48.8)
(薬品・化粧品用プラント)	(6,084)	(7,942)	(+30.5)
(その他)	(465)	(588)	(+26.5)
メカトロシステム事業	4,198	4,176	△0.5
農業用設備事業	3,229	3,004	△7.0
その他の事業	474	325	△31.4
合 計	33,452	40,353	+20.6